

部局名	上下水道局	所属名	給排水相談課	所属長名	竹内 賢和	電 話	483-6156
-----	-------	-----	--------	------	-------	-----	----------

1. 事務事業の位置付け・概要（P L A N）

コード	9051		事務事業名称	下水道業務管理費					短縮コード	経常		臨時	9051
予算区分	会計	20	公共下水道事業特別会計	款	01	総務費	項	01	総務管理費	目	01	一般管理費	
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他				根拠法令等		印旛沼流域下水道事業連絡協議会規約						
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）													
印旛沼流域下水道事業連絡協議会は、昭和44年に初期建設段階にあった流域下水道の推進のため関連12市町村により構成された。													
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測					総合計画の施策体系	5本の柱（章）	04	快適生活空間都市をめざして					
連絡協議会は現在、関連15市町村となり整備・普及率の向上に資している。						大項目（節）	05	下水道					
						中 項 目	01	下水道					
						小項目（施策）	03	維持管理の充実					
						細 項 目	01	下水道施設の維持管理					
実施計画の計画事業													
計画事業の位置付けの有無				☐	計 画 事 業 期 間		～		計 画 事 業 費	千円			

2. 事務事業の目的・指標・実績（D O）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	印旛沼流域下水道事業連絡協議会								
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成18年度に実際に行ったこと： 印旛沼流域下水道事業連絡協議会への参画								
	※平成19年度に計画していること： 印旛沼流域下水道事業連絡協議会への参画								
意図 （何を狙っているのか）	印旛沼流域下水道事業連絡協議会事業で本市に有用な事業への参加								
結果 （どんな結果に結びつけるのか）	適時に使用料等に関する答申を得ること、また、流域下水道事業の協力関係を図ることで本市下水道の維持管理の充実に資する								
区 分					単位	1 7 年度	1 8 年度		1 9 年度
						実績	計画	実績	計画
対象指標	指標 1	連絡協議会構成市町村（正会員）数	市町村	15	15	15	15		
	指標 2								
	指標 3								
活動指標	指標 1	協議会事業の実施件数	件	4	6	5	4		
	指標 2								
	指標 3								
成果指標	指標 1	協議会事業への参加件数	件	4	4	5	4		
	指標 2								
	指標 3								
上位成果指標	指標 1								
	指標 2								
	指標 3								

コード	9051	事務事業名称	下水道業務管理費				所属名	給排水相談課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☐ 改革・改善して継続			今後も他市町村と協調して協議会を推進して行くため。			
		☐ 手法プロセスの改革・改善						
		☐ 事業規模の拡大・縮小						
		☐ 統合・役割見直し						
	☐ その他							
☐ 廃止								
☐ 休止								
☒ 現状のまま継続								
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			協議会構成員や本市の事業参加に大きな変化はない。	
				削 減	不 変	増 加		
		成 果	向 上	☐	☐	☐		
			不 変	☐	☒	☐		
			低 下	☐	☐	☐		

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など	
なし	

所属長コメント	下水道事業の健全な経営において、重要な事業である。	
評価調整委員会意見	☐ 改革改善して継続	担当課の評価のとおり，現状のまま継続とする。
	☐ 手法プロセスの改革・改善	
	☐ 事業規模の拡大・縮小	
	☐ 統合・役割見直し	
	☐ その他	
	☐ 廃止	
	☐ 休止	
	☒ 現状のまま継続	